

## 令和元年度 学校評価の結果について

本年度の港楽小学校の教育活動の達成状況を把握し、よりよい方向へ改善を図るため、教職員自己評価・児童アンケート・保護者アンケートを実施いたしました。その結果を報告させていただきます。

アンケート結果を、A：そう思う…4点、B：まあまあ思う…3点、C：あまり思わない…2点、D：思わない…1点として集計しました。右の数字は、その平均値です。

### 1 合言葉<元気いっぱい 笑顔いっぱい なかまがいっぱい>

児童	「元気いっぱい 笑顔いっぱい なかまがいっぱい」で、学校生活を送ることができた。	3.6 (3.6)
保護者	お子さんは、学校生活を楽しんでいると思う。	3.4 (3.5)
教職員	子どもは「元気いっぱい 笑顔いっぱい なかまがいっぱい」で学校生活を過ごしていた。	3.8 (3.4)

多くの児童は、友達と共に楽しい学校生活を送ることができました。全員の児童が充実した学校生活を送ることができるよう、来年度も継続していききたいと思います。

### 2 重点項目① 仲間づくりの取り組み

児童	縦割り活動で、仲間と協力して取り組むことができた。	3.5 (3.6)
保護者	お子さんは、縦割り活動で「思いやりの心を育て、人にやさしくできるようになった」と思う。	3.2 (3.2)
教職員	子どもは、縦割り活動で仲間と協力して取り組むことができた。	3.0 (3.5)

異学年の児童がふれ合う「縦割り活動」の機会が昨年と比べて減少してしまい、その結果、教職員の平均が0.5下がった。来年度は「縦割り活動」の機会を増やしたり、内容を見直したりして改善していききたいと思います。

<学校評議員より>

- ・ 学年の壁を越えて触れ合う機会を多く作ることで、子どもたちと成長にとって大変意味のある取り組みである。今後も継続していただきたい。

### 3 重点項目②-1 授業改善の取り組み

児童	進んで本を読むことができた。	3.2 (3.2)
保護者	お子さんは、積極的に読書をしていると思う。	2.6 (2.2)
教職員	子どもは、読書活動を通して、本に親しむことができた。	3.7 (2.8)

学校教育努力点である「本に親しむ」の取り組みの中で、閲覧図書が増加や図書室の環境整備、本の読み聞かせの工夫などを行った結果、進んで本を読む児童が増えた。家庭においてはまだ十分とは言えないが、昨年度と比べて保護者平均が0.4上がっていることから、取り組みの成果は見られる。来年度以降も、授業参観などで読書に関わる授業を公開しながら、保護者の理解と協力が得られるようにしていきたいと思います。

<学校評議員より>

- ・ 読書だけでは苦痛とを感じる児童もいるので、読書のあとに漫画を描かせるなどの取り組みがあると良い。
- ・ 読書離れしている児童が多いので、今後もぜひこの活動を続けていただき、習慣付けてほしい。

#### 4 重点項目②ー2 授業改善の取り組み

児童	読書を通して、読む力を伸ばすことができた。	3.3 (3.4)
保護者	お子さんは、授業を通して「読む力」を伸ばしていると思う。	2.9 (2.8)
教職員	子どもは、読書活動を通して、読む力を伸ばすことができた。	2.8 (3.0)

読む力が伸びたと答える児童が目立ったが、「内容が分かっているのか疑問」という保護者の声もあがっている。教職員の平均も低いことから、来年度は「読む力」を高める指導の在り方についても、研究を進めていきたいと思います。

＜学校評議員より＞

- ・ 読んだ本を一言ずつ紹介したり、物語の続きを書いてみたりしてはどうか。想像する経験を多くさせることで、「読む力」伸ばしていける。

---

#### 5 重点項目③ 学校行事の充実

児童	行事では、目標をもって、友達と協力して、全力で取り組むことができた。	3.7 (3.6)
保護者	お子さんは、目標をもって、友達と協力して行事に取り組んでいたと思う。	3.2 (3.3)
教職員	子どもは、目標をもって行事に取り組み、友達と協力して、全力で頑張ることができた。	3.8 (3.6)

昨年度から継続して、運動会や学芸会といった行事一つ一つにテーマをもって行った。その結果、テーマに沿った目標を持ち、友達と協力しながら活動する姿を引き出すことができた。しかし保護者平均が0.1下がってしまったので、保護者の方に理解が得られるよう、情報を発信していきたいと思います。

---

#### 6 防災教育の充実

児童	「自分の命は自分で守ろう」という気持ちをもつことができた。	3.8 (3.8)
保護者	お子さんは、防犯意識を高め、自分で判断して行動できるようになったと思う。	2.9 (2.7)
教職員	子どもは、防災意識を高め、自分で判断して行動することができた。	3.2 (2.8)

今年度も地域団体と協力して防災教室を開き、意識を高めた。その結果、家庭でも災害時の対応や備えといった防災に関する発言が増えたという声が聞かれた。教職員の意識も年々高まってきている。今後も重点項目として、災害時にどう行動すべきかを自ら考えて行動できる児童を育てていきたいと思います。

＜学校評議員より＞

- ・ 実践もよいが、災害等緊急時にまず自分が何をすべきか、考えて行動できる子どもを育ててほしい。そのためには日頃からの声掛けが必要である。

---

#### 7 おわりに

学校教育に関する教職員自己評価・児童アンケート・保護者アンケートの結果をお知らせいたしました。本校では、取り組んでいる教育活動についてご理解いただくために、「学校だより」や「学年だより」「ホームページ」「授業参観」「学級懇談会」「学校開放日」等で情報を発信しております。今後も、より一層の情報発信の充実に努めたいと思います。

来年度も、皆様のご意見やご要望に耳を傾け、改善や工夫を図り、グランドデザインとして示していきたいと思しますので、ご理解やご協力のほどよろしくお願いいたします。